

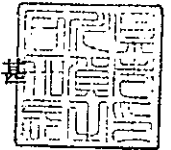


発加整第 139 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 金井 道夫 様

加賀市長 大幸 基



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号で依頼のあった標記について、  
別紙のとおり作成したので回答いたします。

① 道路行政全般の要望・提案

石川県加賀市

次期「社会資本整備重点計画」における重点目標（案）をふまえ

都市交通の快適性、利便性の向上として広域間を連携する主要な道路整備事業について、特別な補助制度の創設ができないでしょうか。

暮らし・環境の分野として緑豊かな道づくりの道路整備にあたっては、良好な景観及び環境に配慮した施策等に地域住民に十分配慮した支援策ができないものなのでしょうか。

二級国道に関し、一路線一事業とは言わないで2・3の事業採択ができる寛大な策定ができませんか。

国土交通省は、良好な景観を形成し、温室効果ガスの吸収など大気環境への負荷を軽減するため、良質な緑の道路空間を構築する道路緑化を推進のため 緑陰道路プロジェクトの計画を始めたと聞いておりますが、その点についての詳細をご教授願いたい。

自転車活用施策・自転車利用環境の改善事業の推進について、大規模自転車道ではなく、小規模な事業の推進（その地域の現状に即した自転車道整備）ができないものなのでしょうか。

平成20年5月13日閣議決定された道路特定財源の一般財源化については、地方の道路整備の必要性を十分認識していただき、まちづくり交付金事業、歴史文化構想など道路及び関連する地域活性に財源を確保していただきたい。併せて、地方財政に影響を及ぼさないよう道路地方財源の確保をお願いいたします。

② - 1 地域の現状と抱える課題

石川県加賀市

| 現状                                                                                | 課題            |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口の減少</li> <li>・ 観光客（交流人口）の減少</li> </ul> | <p>地域の活性化</p> |

③ ー 2 地域の目指すべき将来像

石川県加賀市

- ・ 住みよいまちづくり（環境、景観、歴史文化）
- ・ 交流人口の拡大（観光客、企業誘致）

## ④ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

石川県加賀市

| 重点事項   | 代表事例                                           | 期待する効果や評価等  |
|--------|------------------------------------------------|-------------|
| にぎわい創出 | まちづくり交付金等による街並み形成<br>「山代湯の曲輪」の再生によるにぎわい<br>創出。 | 魅力ある温泉地の活性化 |
| 修景整備   | 国道８号沿線のまちづくり。４車線化、<br>沿線の修景整備および緑化。            |             |